

大明教育 実践の評価 <集計結果と考察>

評価のねらい

- ◆ 2学期の実践の評価を踏まえ、3学期の課題を明らかにする。
- ◆ 小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇ A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇ 評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入してください。

◇ 評価欄に斜線がある項目は2回目に評価してください。

◇ 「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書いてください。

評価項目

評価

A B C

1. 教育目標について

① 学校教育目標・指導重点は適切だったか。	17	6	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	13	9	0
③ 学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	11	11	1

<考察>

- ・本校の教育目標「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」は知・徳・体のバランスのとれた子ども、すなわち「生きる力」を身に付けた子どもの姿であり、変化の激しい社会に生きていく子どもたちに必要な力である。今後とも、この目標の具現化のために教育活動を進めていく。
- ・設問③「学校教育目標や経営方針が児童や父母に理解されるよう配慮されているか」について、B評価が多く、またC評価も1名いた。

<改善策1>

- ・学校教育目標は、それぞれの学年通信等に必ず記述しており、自然と目に触れるようにはしてあるが、その意味についてもPTA総会などで、保護者に説明をしていくことが大切である。

2. 経営・組織

① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	15	8	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	13	9	0
③ 学年打ち合わせが十分にできているか。	15	4	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	16	6	0

<気がついたこと>

- ・終礼は週1度でいいと思います。(パソコンを利用しているので)放課後は学年の打合せや、下見・外部の方との打ち合わせ等で時間を使いたいです。
- ・校内研で、先生方の授業を見るのはとても勉強になる。

<考察>

- ・4つの設問とも良好な結果となっている。
- ・設問③「学年打ち合わせが十分にできているか。」が十分なされているという結果であった。

<改善策2>

- ・先生方はそれぞれがいろいろな業務を持ちながら、教育活動に取り組んでいる。その中で、連絡・調整や学年の打合せ等の時間が勤務時間内で取ることが難しい状況であり、午後6時を過ぎてから打合せを始めることも少なくない現状である。今後とも、会議や終礼等の効率化・短縮化に取り組んでいく。

3. 教育課程 (1) 全般

① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	6	16	0
------------------------	---	----	---

(2) 各教科・総合的な学習

② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	14	5	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	8	11	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	12	7	0

(3) 道徳

⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	11	7	1
⑥ 道徳的实践・道徳性などが高められていると思うか。	4	16	1

(4) 特別活動 (学級活動・児童会活動)

⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	5	12	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	11	11	0

(5) 学校行事

⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	17	5	2
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	17	6	1

〈気がついたこと〉

・教育課程に位置付けられていない授業？学校保健委員会の6年生の参加はやめてほしい。

〈考察〉

- ・設問①「教育課程に本校の特色は生かされているか」、設問⑥「道徳的実践・道徳性などが高められていると思うか。」、設問⑦「学級活動は、自主的・自発的に運営されたか」については、A評価が少ない結果であった。
- ・(2)各教科・総合的な学習、(5)学校行事はおおむね良好な結果であった。
- ・C評価がついている項目が4項目あった。

〈改善策3〉

・道徳教育は教育活動全体を通して行うものであり、道徳の授業はその要となるものである。しかし、授業をしてすぐに道徳性が身につくというものでもない。指導要領の改定で道徳が教科となることも踏まえ、答えが1つではない道徳的な課題を一人一人が自分の問題としてとらえ向き合う、「考える道徳」、「議論する道徳」への転換を図っていく。

4. 学級経営・生徒指導

① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	11	7	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	14	7	1
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	7	11	1

〈気がついたこと〉

- ・運動会、陸上、文化発表会と、6年生の2学期は行事が続き忙しかった。常に子どもを追い立てる感があり、クラスも落ち着かない時があった。
- ・毎月生徒指導において指導重点を出していただき、職員で共通理解を図りながら取り組んでいることはとても大事だと思います。今後も続けていきたいです。
- ・職員が共通理解を持って指導を進めることで、子どもたちの迷いや揺らぎがなく、学校生活がおくれると思う。

〈考察〉

- ・設問③「支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。」についてはA評価が少なくC評価も1名いた。
- ・その他は②でC評価が1名いたものの、おおむね良好な結果となった。

〈改善策4〉

- ・コーディネーターを中心にして、校内支援委員会があるが、もっと積極的・組織的に支援に取り組んでいく必要がある。
- ・生徒指導や児童の豊かな人間関係を築く学級づくりにはQ-Uを活用して、個人研究としながらも校内研の取組として組織的に行った。今後、これらの共有や良い方向に進んだ学級の事例研究なども行っていきたい。

5. 家庭・地域社会との連携

① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	7	10	0
② PTA活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	10	9	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	9	11	1
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	7	11	2

〈気がついたこと〉

- ・学校応援団を一層活用していきたい。
- ・学校応援団の内容を把握していないうえ、来ていただく方との連絡を取る手間が面倒に思ってしまう。学年別、教科別一覧のようなものを見れば活用する気持ちになるでしょうか？
- ・道徳授業参観は11月に2つ目の参観なので、出席率はどうしても悪くなってしまう。別の月にすることも考えられますが・・・。
- ・地域ふれあい道徳の後にある講演会の出席が少なく残念でした。
- ・地域ふれあい道徳の時の講演会の人数が少なくて残念でした。子どもたちと一緒に帰ってしまうことが多かったので、親子でも参加できるものなど工夫が必要かと思いました。
- ・文化発表会の出席率はとても良いが、地域ふれあい道徳の出席がとても少ない。11月～12月上旬は保護者の来校が重なるので時期をずらすのもいい。
- ・学校応援団の活用については1年を見通した中で位置づけができると、もう少し活用が進むと思う。

〈考察〉

- ・設問③・④にC評価があった。
- ・学校応援団については、本の読み聞かせなど毎週行っていたりしている方や、毎年5年生のコメ作りに協力していただいている方など定期に来ていただいている方以外の活用が少なかった。
- ・プールの監視や低学年の校外学習の付き添いなど、学校応援だとは別に保護者のボランティアをお願いすることができて助かった。

〈改善策5〉

- ・文化発表会と地域ふれあい道徳については、今年度10日ほどしか間がなかった。来年度は、地域ふれあい道徳を11月第4週に行うようにし、少し期間をかけていく。
- ・学校応援団にせっかく登録をしてくれても、実際に活動がなかったということでは申し訳がない。5月下旬には学校応援団の活用内容がわかるので、間際になってからお願いするのではなく、年間を見通して先のことでも電話で都合を聞くなど、年間計画に組み入れていくようにする。

6. その他

① 子どもたちは、あいさつができていたか。	3	18	2
② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。	3	15	0
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	7	14	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	15	7	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	12	9	0

〈気がついたこと〉

- ・早寝、早起きの習慣を保護者と連携を取り合っていきたい。
- ・時間の余裕がないと気持ちの余裕もなくなり、子どもたちへの指導もできない。時間を生み出す改善策・・・思いつきません。
- ・毎回書きますが、職員会議と校内研の後の終礼は必要ないと思います。時間通りに始まることはほとんどないので、思い切ってなくしてもいいと思います。放課後の時間は貴重なので、急に終礼が入ることもできるだけなくしてほしいです。
- ・生徒指導主任を中心に共通理解を図り、取組が強化されたことで、子どもたちの意識も高まって、あいさつができる子が増えてきた。

〈考察〉

- ・子どもたちのあいさつや給食中のマナーについて課題があると感じている割合が高い。一方、あいさつができるようになってきたと感じている先生もいた。
- ・保護者アンケートでも基本的な生活習慣について若干低くなってきたが、教職員も子どもたちが基本的な生活習慣を身につけていくことの大切さを感じている。
- ・読書活動の推進、保健指導などができていたと感じている割合が高い。

〈改善策6〉

- ・子どもたちのあいさつについては、気持ちの良いあいさつができる子ども・あいさつが苦手な子どもがおり、どの子どもにもあいさつを交わしたかによっても印象が違ってくることが考えられる。児童会の取組や大人が率先して気持ちの良いあいさつの声かけをしていく取組を継続していく。
- ・給食の時間おしゃべりに夢中になり決められた時間で食べきれないとか、周りに迷惑をかけてしまうことがないように、マナーを守って楽しい時間としていきたい。